

# 福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU

第38476号 (日刊) 2011年 (平成23年) 7月28日 (木曜日)



佐藤知事に目録を手渡す  
永田専務理事(中)。左は矢  
部常務理事

## 推進協 県に100万円寄付

被災地復興のために  
エコキャップ運動

エコキャップ収集運動を  
主導しているエコキャップ  
推進協会(横浜市)は27日、  
東日本大震災義援金として  
県に1千万円を寄付した。

贈呈式は県庁で行われ、永  
田専務理事・事務局長が  
佐藤雄平知事に目録を手渡  
した。

震災を受け、エコキャッ  
プは約400個で10円に

なる収益金を被災地の復  
旧、復興に充てている。対  
象は、本県のほか宮城、岩  
手、茨城の被災4県。各1  
千万円を贈呈し、宮城県に  
はすでに贈っている。義援  
金の総額はエコキャップ4  
億個に上るといふ。

永田専務理事は、「昨年  
11月から今年8月までのエ  
コキャップの収益金を震災  
の義援金とする。被災地に  
役立ててもらえれば」と話  
した。佐藤知事は「心から

感謝する」と謝辞を述べた。

贈呈式には、矢部信司常  
務理事、今泉恵一(南東北支  
部長)、山橋由樹子(小さな  
親切運動)本部事務局長、  
阪路雅之(東邦銀行取締役総  
合企画部長)、「小さな親切  
運動」県本部事務局長、塚  
田牧男(読売新聞社東京本社  
福島支局長)、松原正明(福島  
民友新聞社総務局長)、渡辺  
剛彦(福島中央テレビ事業局  
長)が同行した。

同運動は今年5月に再  
開、「頑張ろう ふくしま」  
心を一つに、エコキャップ  
運動で被災地に義援金を

として運動を展開してい  
る。9月以降は通常の活動  
に戻り、発展途上国の子ど  
もたちへのポリオワクチン  
として届けられる予定。